

事業評価票

169	河川における再生可能エネルギーの活用 (建設局河川部／一般会計)	事業開始	平成 26 年度
		事業終了予定	平成 — 年度

【局評価】

1	どのような経緯で事業を始めたか、何を指すのか
<p>○ 都では、「2020年の東京」において、「再生可能エネルギーの利用拡大」という目標を掲げており、平成26年5月には、再生可能エネルギーの利用割合を20%程度まで高めるとの方針を打ち出した。</p> <p>○ 都有施設での積極的な利用拡大が求められる中で、河川管理者として、現在活用されていない河川の落差を有効活用し、再生可能エネルギーの導入を進めている。</p> <p>○ 平常時の光熱水費の節減を図るとともに、非常時には、非常用電力としての活用も見込んでいる。</p>	
根拠法令等	

2	どのように取り組み、どのような成果があったか
<p>○ 再生可能エネルギーの導入が可能と考えられる施設において、平成26年度に実現可能性を検討した。</p> <p>○ 河川管理施設での使用用途や費用便益比(B/C)等を検討した結果、扇橋閘門と北十間川樋門で河川の落差を利用した小水力発電を導入することで、工事費を上回る平常時の維持管理費用節減効果が見込めることが明らかになった。以上のことから、扇橋閘門と北十間川樋門では導入可能であるという結論を得た。</p> <p>○ 扇橋閘門において、27年度に詳細設計を実施した。</p> <p>○ 非常時には、発電した電力を供給することで、非常用電力として活用の可能性があるという結果も得られた。</p>	

3	どのような課題や問題点があったか
<p>○ 各河川管理施設の状況に合わせた設置箇所や発電機器の検討が必要になる。</p> <p>○ 発電した電力の河川管理施設での使用用途の検討が求められる。</p> <p>○ 可能性を判断するうえで、発電による光熱水費の節減効果と設置工事費とを比較した費用便益比(B/C)を検討し、平常時に節減効果がなければならぬ。</p>	

4	局として、事業をどうしていきたいか																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px;">拡大・充実</td> <td style="padding: 2px;">見直し・再構築</td> <td style="padding: 2px;">移管・終了</td> <td style="padding: 2px;">その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他																	
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他																			
<p>○ 導入が可能であるという結論を得た扇橋閘門と北十間川樋門において、当該施設の耐震化工事などに合わせて発電設備を設置する。</p> <p>○ 平成28年度は、北十間川樋門における発電設備設置のため、詳細設計を実施する。</p>																						
<small>《小水力発電導入による経費比較》 (単位：千円)</small>																						
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">区 分</th> <th style="width: 20%;">現 状</th> <th style="width: 50%;">小水力発電導入後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入 (売電)</td> <td style="text-align: center;">-</td> <td style="text-align: center;">2,720</td> </tr> <tr> <td>費用 (光熱水費・減価償却等)</td> <td style="text-align: center;">294</td> <td style="text-align: center;">2,094</td> </tr> <tr> <td>1年度あたりの収支</td> <td style="text-align: center;">△ 294</td> <td style="text-align: center;">626</td> </tr> <tr> <td>1年度あたりの節減効果</td> <td style="text-align: center;">920</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		区 分	現 状	小水力発電導入後	収入 (売電)	-	2,720	費用 (光熱水費・減価償却等)	294	2,094	1年度あたりの収支	△ 294	626	1年度あたりの節減効果	920							
区 分	現 状	小水力発電導入後																				
収入 (売電)	-	2,720																				
費用 (光熱水費・減価償却等)	294	2,094																				
1年度あたりの収支	△ 294	626																				
1年度あたりの節減効果	920																					
歳入	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">26年度決算額</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%;">千円</td> <td style="width: 5%;"></td> <td style="width: 40%;">26年度決算額</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">8,424</td> <td style="width: 10%;">千円</td> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>千円</td> <td></td> <td>27年度予算額</td> <td style="text-align: center;">15,000</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>28年度見積額</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>千円</td> <td></td> <td>28年度見積額</td> <td style="text-align: center;">20,000</td> <td>千円</td> </tr> </table>	26年度決算額	—	千円		26年度決算額	8,424	千円	27年度予算額	—	千円		27年度予算額	15,000	千円	28年度見積額	—	千円		28年度見積額	20,000	千円
26年度決算額	—	千円		26年度決算額	8,424	千円																
27年度予算額	—	千円		27年度予算額	15,000	千円																
28年度見積額	—	千円		28年度見積額	20,000	千円																
歳出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">26年度決算額</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%;">千円</td> <td style="width: 5%;"></td> <td style="width: 40%;">26年度決算額</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">8,424</td> <td style="width: 10%;">千円</td> </tr> <tr> <td>27年度予算額</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>千円</td> <td></td> <td>27年度予算額</td> <td style="text-align: center;">15,000</td> <td>千円</td> </tr> <tr> <td>28年度見積額</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td>千円</td> <td></td> <td>28年度見積額</td> <td style="text-align: center;">20,000</td> <td>千円</td> </tr> </table>	26年度決算額	—	千円		26年度決算額	8,424	千円	27年度予算額	—	千円		27年度予算額	15,000	千円	28年度見積額	—	千円		28年度見積額	20,000	千円
26年度決算額	—	千円		26年度決算額	8,424	千円																
27年度予算額	—	千円		27年度予算額	15,000	千円																
28年度見積額	—	千円		28年度見積額	20,000	千円																

【財務局評価】

5	財務局として、成果や課題などについて、どう考えたか
<p>○ 再生可能エネルギー利用拡大のためには都有施設の積極的な有効活用が必要である。</p> <p>○ 併せて再生可能エネルギーの導入に当たっては、設置工事費や発電による節減効果等を比較し、効果が得られることにも留意する必要がある。</p> <p>○ 北十間川樋門に小水力発電を設置することで、売電収入により平常時の光熱水費等の節減効果が見込まれるとともに、非常時の電力としての活用の観点からも有効である。</p>	

6	28年度予算で、どのように対応したか				
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 2px;">拡大・充実</td> <td style="padding: 2px;">見直し・再構築</td> <td style="padding: 2px;">移管・終了</td> <td style="padding: 2px;">その他</td> </tr> </table>		拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他
拡大・充実	見直し・再構築	移管・終了	その他		
<p>○ 局案のとおり予算を計上する。</p>					
歳入	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">28年度予算額</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">—</td> <td style="width: 10%;">千円</td> </tr> </table>	28年度予算額	—	千円	
28年度予算額	—	千円			
歳出	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">28年度予算額</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">20,000</td> <td style="width: 10%;">千円</td> </tr> </table>	28年度予算額	20,000	千円	
28年度予算額	20,000	千円			